

【1】市民アンケート調査結果について

令和6年8月
上田市

1 調査の概要

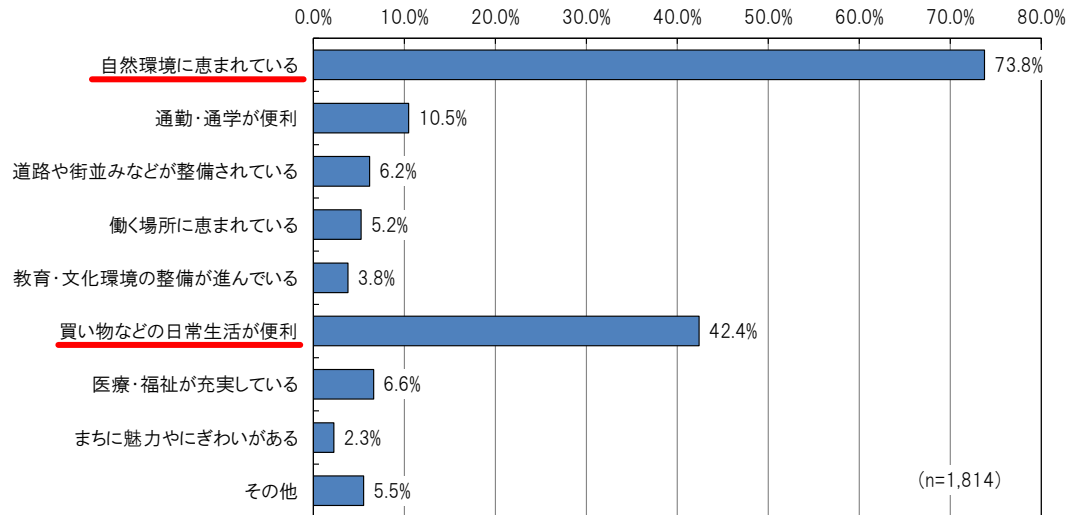
■ 調査概要

調査対象	市内18歳以上の住民5,000人を対象に無作為抽出(外国人も含む)
調査期間	2024年5月13日(火)～2024年7月3日(水)着分まで
調査方法	配布方法:郵送による配布 回収方法:郵送あるいはWEBによる回答
回収状況	回答者数 1,814人(うちWEBによる回答者303人) 回収率 36.3%
回答者属性	【年代】 20歳代以下 6.9%、30代 8.4%、40代 11.9%、50代 15.2%、60代 18.9%、70歳代以上 38.3%、無回答 0.6% 【性別】 男性 43.7%、女性55.0%、その他 0.2%、無回答 1.1% 【国籍】 日本国籍98.5%、外国籍 1.2%、無回答 0.4%

2 上田市の住みやすさについて

～① 住みやすいと感じる理由は何か～

■ 上田市が住みやすいと感じる理由



- ・ 上田市が住みやすいと感じる理由をみると、「自然環境に恵まれている」が73.8%と突出して高くなっています。
- ・ 次いで「買い物などの日常生活が便利」が42.4%と高くなっています。

■ 【年代別】上田市が住みやすいと感じる理由

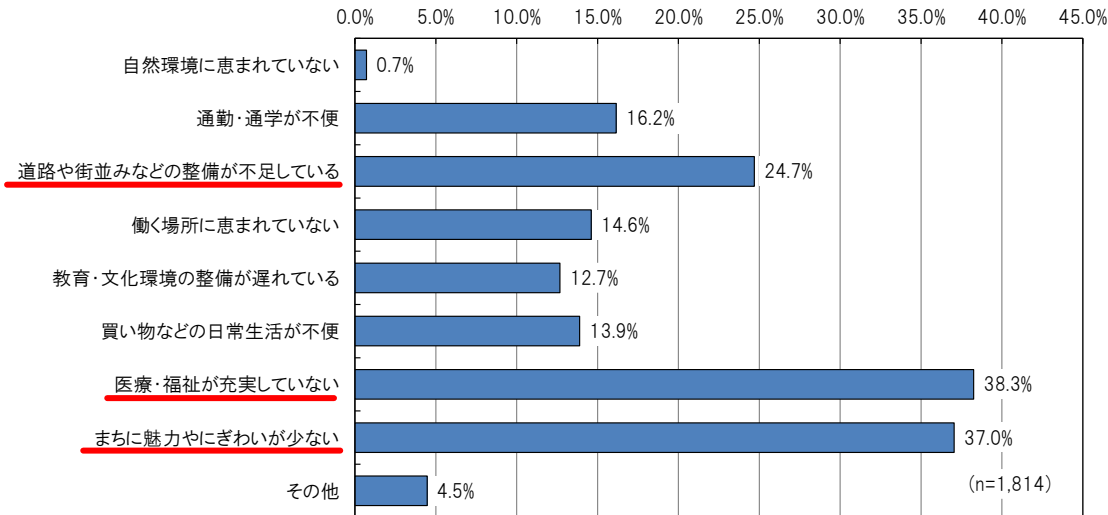
	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれている	68.0%	66.4%	71.3%	74.5%	78.4%	75.4%	20.0%	73.8%
通勤・通学が便利	13.6%	17.1%	16.2%	10.5%	12.3%	5.6%	20.0%	10.5%
道路や街並みなどが整備されている	9.6%	8.6%	5.6%	5.5%	5.0%	6.2%	0.0%	6.2%
働く場所に恵まれている	6.4%	2.0%	6.0%	4.4%	7.6%	4.8%	0.0%	5.2%
教育・文化環境の整備が進んでいる	4.0%	3.9%	1.9%	2.5%	2.3%	5.6%	0.0%	3.8%
買い物などの日常生活が便利	44.8%	48.7%	39.8%	36.4%	41.2%	44.7%	20.0%	42.4%
医療・福祉が充実している	4.8%	4.6%	2.8%	5.5%	3.2%	10.8%	0.0%	6.6%
まちに魅力やにぎわいがある	8.0%	3.3%	3.7%	1.5%	1.2%	1.4%	0.0%	2.3%
その他	4.0%	5.9%	6.5%	5.5%	5.6%	5.5%	0.0%	5.5%

- ・ 年代別にみても、いずれの年代も「自然環境に恵まれている」、「買い物などの日常生活が便利」の回答割合が高い結果となりました。
- ・ 30代は他の年代に比べ「買い物などの日常生活が便利」(48.7%)、「通勤・通学が便利」(17.1%)等が高くなっています。

2 上田市の住みやすさについて

～② 住みにくいとを感じる理由は何か～

■ 上田市が住みにくいとを感じる理由



- 上田市が住みにくいとを感じる理由をみると、「医療・福祉が充実していない」が38.3%、「まちに魅力やにぎわいが少ない」が37.0%と高くなっています。
- これらに次いで「道路や街並みなどの整備が不足している」(24.7%)が高くなっています。

■ 【年代別】上田市が住みにくいとを感じる理由

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自然環境に恵まれていない	0.0%	0.7%	0.0%	0.4%	1.5%	0.9%	0.0%	0.7%
通勤・通学が不便	32.8%	20.4%	21.8%	15.6%	17.3%	10.4%	0.0%	16.2%
道路や街並みなどの整備が不足している	22.4%	27.6%	25.9%	29.1%	25.7%	21.9%	20.0%	24.7%
働く場所に恵まれていない	20.8%	22.4%	16.7%	16.4%	12.0%	11.8%	10.0%	14.6%
教育・文化環境の整備が遅れている	15.2%	23.0%	21.3%	10.5%	13.7%	7.8%	0.0%	12.7%
買い物などの日常生活が不便	12.0%	7.2%	9.3%	11.3%	11.4%	19.6%	0.0%	13.9%
医療・福祉が充実していない	24.0%	43.4%	37.5%	37.8%	46.8%	36.2%	20.0%	38.3%
まちに魅力やにぎわいが少ない	28.0%	23.0%	28.2%	40.0%	40.9%	41.8%	10.0%	37.0%
その他	6.4%	6.6%	4.6%	5.8%	3.2%	3.7%	0.0%	4.5%

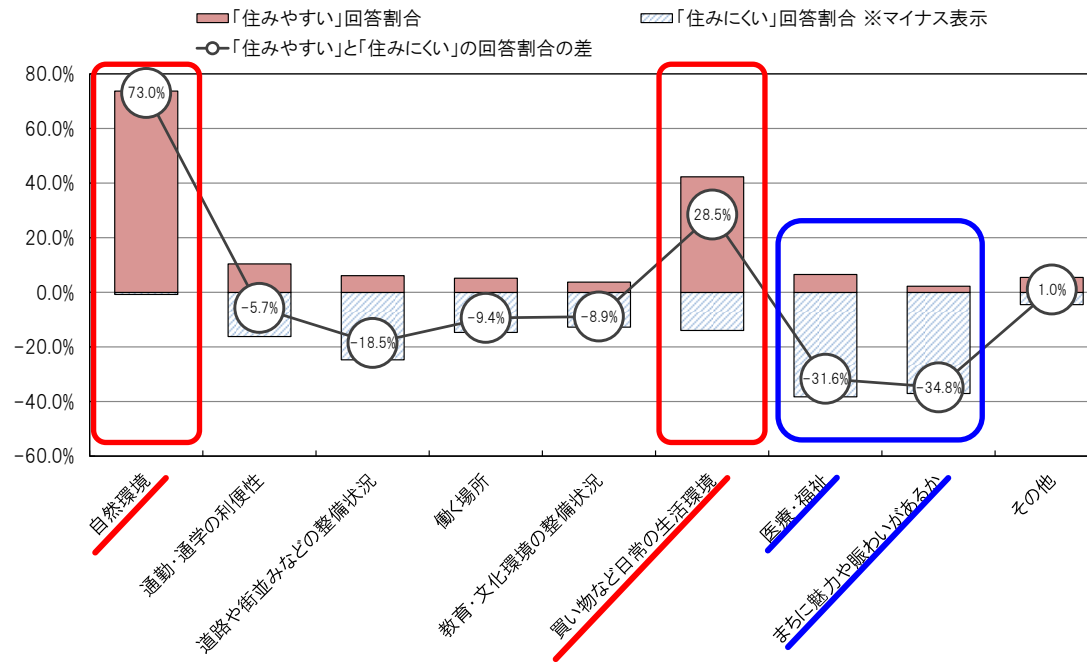
- 年代が高いほど「まちに魅力やにぎわいが少ない」の回答割合が概ね高い傾向にあり、70歳以上では41.8%が回答しました。
- 20歳代以下では、「通勤・通学が不便」の回答割合が32.8%と最も高くなっています。
- 30歳代では、「医療・福祉が充実していない」(43.4%)に次いで、「道路や街並みなどの整備が不足している」(27.6%)が高くなっています。

2 上田市の住みやすさについて

～「①住みやすい点」「②住みにくい点」の比較～

■ 「住みやすい」回答割合と「住みにくい」回答割合の比較

- 項目別に、「住みやすいと感じる項目」と「住みにくいと感じる項目」の回答割合の差をみたものが、下のグラフです。
- “住みやすい”評価が高い**ものとして、「**自然環境**」(73.0ポイント差)、「**買い物など日常の生活環境**」(28.5ポイント差)が挙げられます。
- 一方、**“住みにくい”評価が高い**項目としては、「**まちに魅力や賑わいがあるか**」(▲34.8ポイント差)、「**医療・福祉**」(▲31.6ポイント差)が挙げられます。

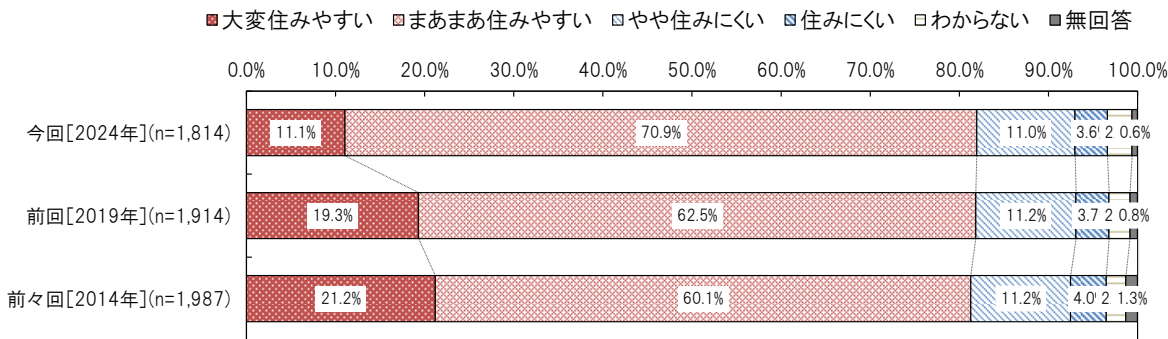


(注)「住みにくい」回答割合はマイナス表示をしている

2 上田市の住みやすさについて

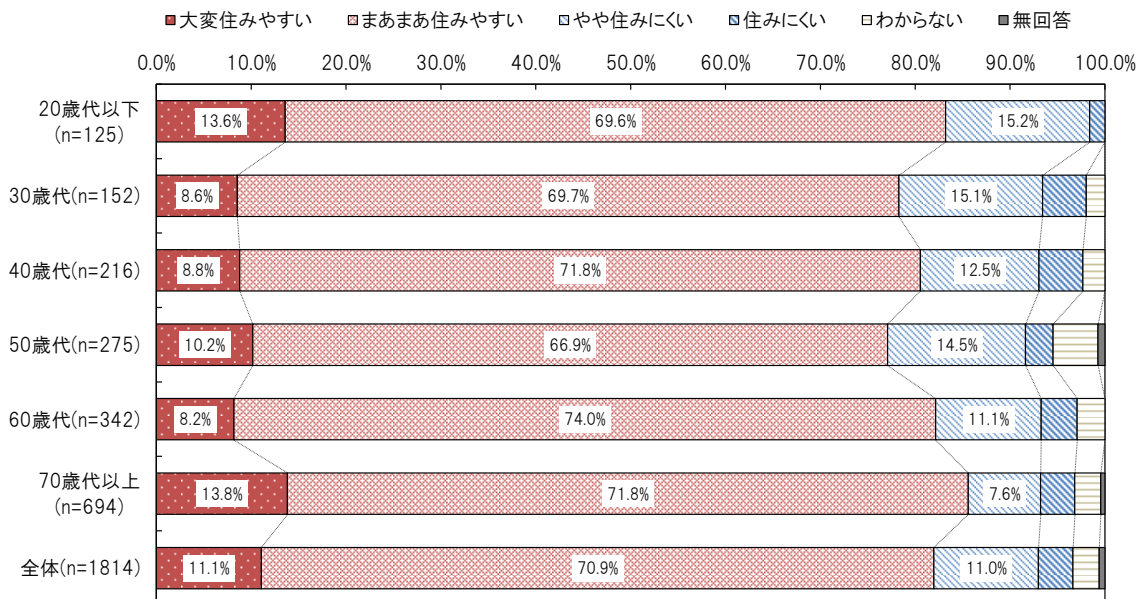
～③ 住みやすいまちだと思うか～

■ 上田市は住みやすいまちだと思うか



- 8割を超える住民が「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」と回答しており、「住みにくい」「やや住みにくい」を合わせた回答割合(14.6%)を大きく上回っています。
- 前回調査と比較すると、「まあまあ住みやすい」と「大変住みやすい」を合算した回答割合(82.0%)は前回調査(81.8%)と概ね同程度であるが、「大変住みやすい」回答割合は11.1%と前回調査から8.2ポイント減少しました。

■ 【年代別】上田市は住みやすいまちだと思うか

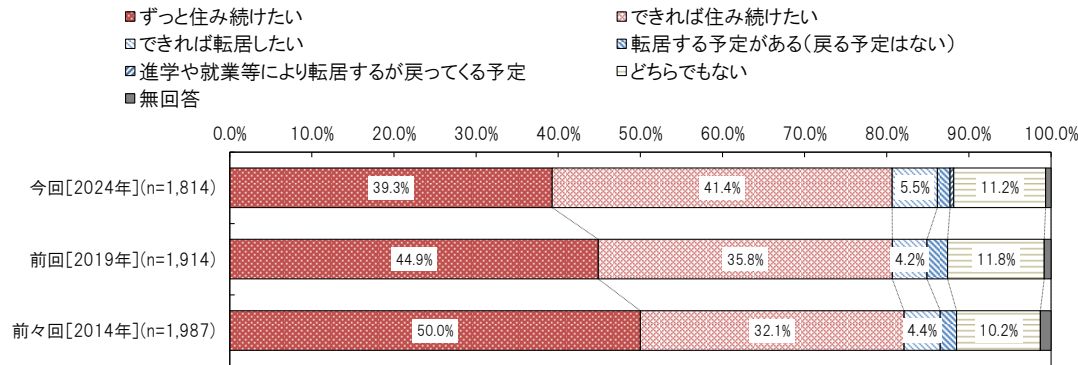


- 年代別にみると、「大変すみやすい」「まあまあ住みやすい」の合計は、いずれの年代も7割を超えており、特に「70歳代以上」「60歳代」「20歳代以下」等では8割を超えています。
- 「大変住みやすい」は、他の年代に比べ「20歳代以下」「70歳代以上」で高い結果となりました。

2 上田市の住みやすさについて

～④ 今後も住み続けたいか～

■ 今後も上田市に住み続けたいと思うか

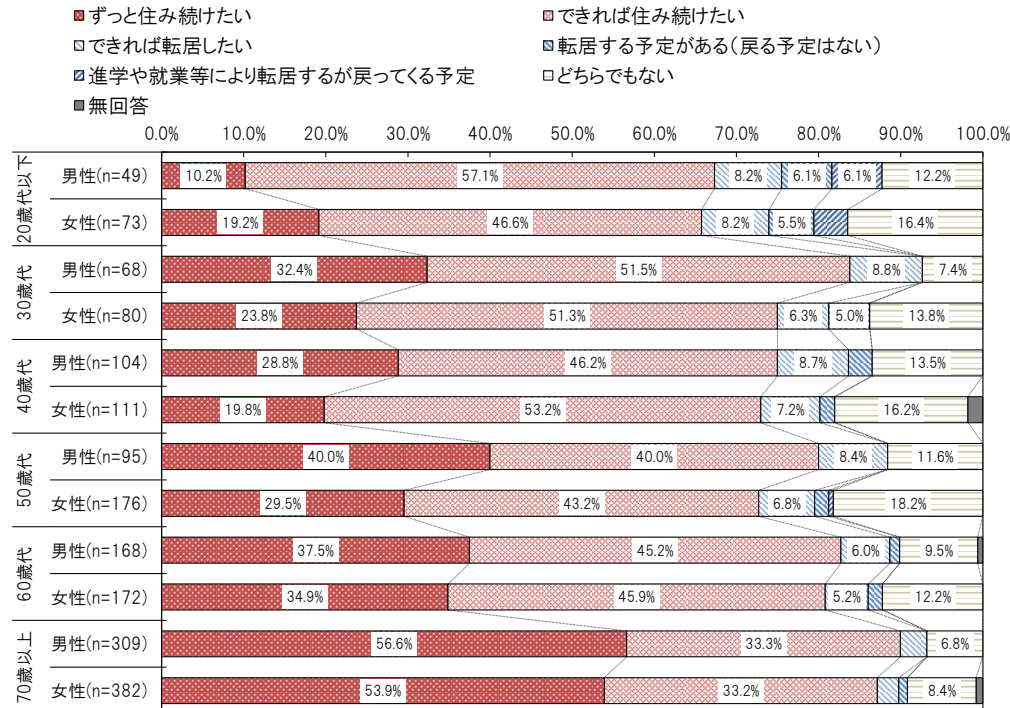


(注1)「転居する予定がある(戻る予定はない)」は今回調査から回答項目として新設。過去の調査では「転居する予定がある」として扱った。

(注2)「進学や就業等により転居するが戻ってくる予定」は今回調査から回答項目として新設。

- 今後も上田市に住み続けたいと思うか尋ねた設問では、「できれば住み続けたい」が41.4%と最も多く、「ずっと住み続けたい」(39.3%)と合わせると、80.7%が今後も住み続けたいと回答しました。
- 前回調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」は5.6ポイント減少しました。

■ 【性別・年代別】今後も上田市に住み続けたいと思うか



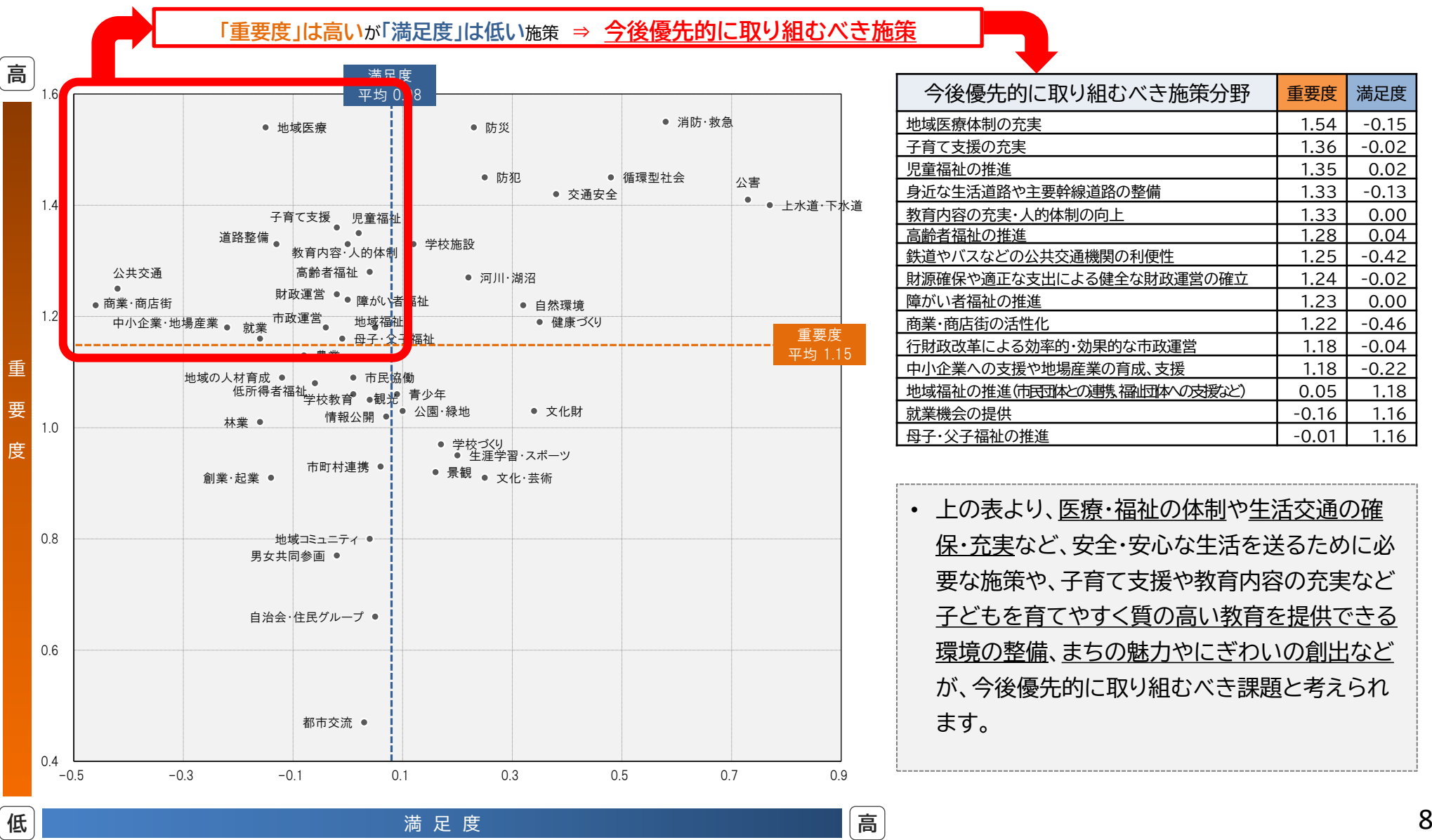
- 年代別にみると、概ね年代が高いほど、“住み続けたい”回答割合が高い傾向があります。

3 市の全般的な施策や事業等について

～今後優先的に取り組むべき施策分野は何か～

重要度×満足度マトリクス分析

・ 47の施策について、それぞれ「重要度」と「満足度」を5段階で訊いた結果に基づき、ポイントの重み付けを行った結果をプロットして分析



4 子育て支援について

～今後力を入れて取り組むべき子育て支援策～

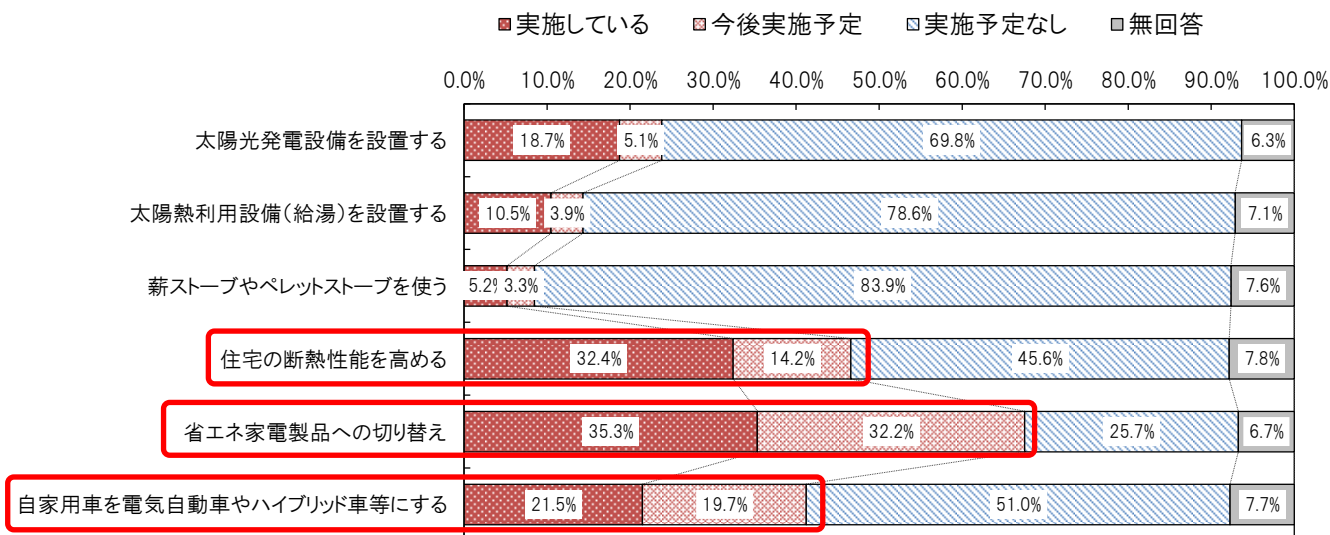
■ 【年代別】今後力を入れて取り組むべき子育て支援策

- 全体でみると、「安心して出産ができる環境の整備や小児医療体制の充実」(38.6%)、「子どもを預けやすく、働きながら子育てできる環境の整備」(37.8%)が高く、次いで「保育料や教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減」(26.6%)が続く結果となりました。
- 年代別にみると、20歳代以下、30歳代は「保育料や教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減」の回答割合が他の年代に比べ高く4割を超えており、市全体と比較するとそれぞれ13.4ポイント、16.8ポイント高くなっています。

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
安心して出産ができる環境の整備や小児医療体制の充実	23.2%	34.2%	34.3%	38.9%	46.2%	39.6%	50.0%	38.6%
不妊治療など妊娠・出産に対する支援	14.4%	9.2%	11.1%	7.6%	3.8%	4.0%	10.0%	6.6%
妊娠、出産から子育てに対する相談体制や情報提供の充実	8.0%	5.9%	6.9%	5.5%	4.1%	5.6%	0.0%	5.6%
子どもを預けやすく、働きながら子育てできる環境の整備	39.2%	32.2%	31.9%	34.5%	43.9%	38.6%	50.0%	37.8%
残業時間の短縮や休暇の取得促進など職場環境の改善・充実	16.0%	15.8%	13.4%	12.0%	7.9%	7.9%	0.0%	10.4%
保育料や教育費、子ども医療費の減免など経済的負担の軽減	40.0%	43.4%	31.9%	24.0%	24.9%	20.9%	20.0%	26.6%
雇用形態の改善など雇用対策による若い世代の経済的安定化	22.4%	13.8%	14.4%	13.5%	16.4%	14.4%	20.0%	15.2%
子どもをいじめや虐待、犯罪等から守る施策	8.8%	11.8%	10.2%	18.9%	16.4%	15.7%	10.0%	14.8%
安全・安心な道路・公園・公共施設等の整備・充実	8.8%	11.8%	17.1%	14.5%	14.0%	12.0%	10.0%	13.1%
遊びや交流の場の整備・充実	7.2%	3.9%	9.7%	8.0%	2.6%	5.5%	0.0%	5.8%
地域の子育て支援活動に参加する人材の育成、ネットワークの強化	2.4%	4.6%	3.7%	4.4%	6.7%	7.2%	0.0%	5.7%
その他	0.8%	3.9%	4.6%	2.5%	0.6%	2.0%	0.0%	2.2%

5 環境(脱炭素・ゼロカーボン)の取組について～各家庭での取組状況および今後の予定～

■ 地球温暖化防止(温室効果ガス削減)のために家庭で取り組んでいること



- 「実施している」「今後実施予定」の合算をみると、「省エネ家電製品への切り替え」が67.5%と最も高くなっています。
- 次いで、「住宅の断熱性能を高める」(46.6%)、「自家用車を電気自動車やハイブリッド車等にする」(41.2%)が続いています。

6 先進技術等の活用について

～住民サービスの向上や産業振興につながるデジタル活用～

■ 【年代別】先進技術を活用することで、住民サービスの向上や産業振興につながると考えられる分野

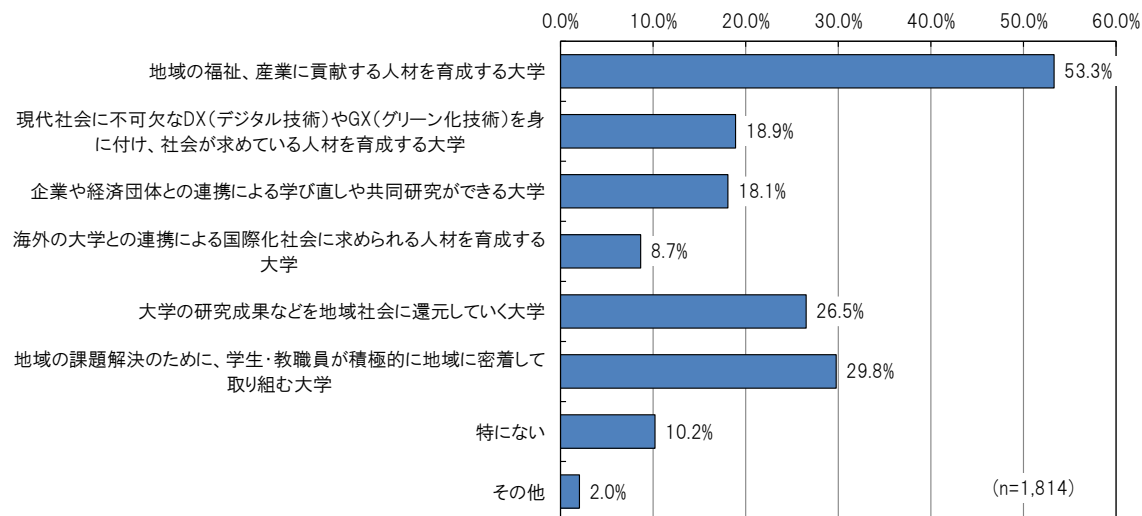
- 全体でみると、「遠隔診療、健康管理、高齢者の見守りなど『医療・介護』分野」が61.4%と最も高く、次いで「災害時の避難誘導、救助活動支援、物資配送、緊急時の自立エネルギー供給など『防災』分野」が54.7%と高い結果となりました。
- 年代別にみると、「遠隔診療、健康管理、高齢者の見守りなど『医療・介護』分野」は、上の年代で回答割合が高い傾向にあります。
- 「市役所業務の自動化、簡略化、ワンストップ手続きなど『行政サービス』分野」は、30代は52.0%と約半数が回答しましたが、70歳代以上では36.0%でした。
- また、20歳代以下では、他の年代に比べ「キャッシュレス決済など『支払い』分野」の回答割合が高く、34.4%（市全体と比べ14.3ポイント差）が回答しました。

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
自動運転サービス、データ活用による交通量管理・駐車場管理など「移動」分野	36.0%	36.2%	37.5%	30.5%	32.2%	24.2%	10.0%	30.0%
自動配送やドローン配達など「物流」分野	32.0%	33.6%	31.5%	27.3%	24.9%	17.9%	20.0%	24.5%
キャッシュレス決済など「支払い」分野	34.4%	24.3%	29.2%	20.4%	19.9%	13.7%	20.0%	20.1%
市役所業務の自動化、簡略化、ワンストップ手続きなど「行政サービス」分野	39.2%	52.0%	44.9%	44.7%	45.6%	36.0%	30.0%	41.7%
遠隔診療、健康管理、高齢者の見守り支援など「医療・介護」分野	48.0%	47.4%	59.3%	58.9%	69.3%	64.6%	70.0%	61.4%
遠隔教育、オンライン講座など「教育」分野	24.8%	25.7%	26.4%	14.9%	12.9%	8.6%	20.0%	15.1%
電力使用量の見える化による省エネ推進、上下水道のインフラ整備監視、保安など「エネルギー・水」分野	28.0%	24.3%	23.1%	35.3%	40.6%	39.5%	20.0%	35.0%
循環型コミュニティの形成など「環境」分野	8.0%	11.2%	10.2%	14.2%	13.7%	12.8%	20.0%	12.5%
災害時の避難誘導、救助活動支援、物資配送、緊急時の自立エネルギー供給など「防災」分野	36.8%	52.0%	46.3%	55.3%	59.6%	58.2%	70.0%	54.7%
防犯システム構築など「防犯」分野	26.4%	40.1%	29.6%	44.0%	44.4%	44.7%	40.0%	41.1%
農林業の作業効率化、生産性向上、農業機械の自動走行、鳥獣の捕獲・追い払いなど「農業・林業」分野	28.0%	23.7%	28.7%	33.1%	38.9%	36.7%	30.0%	33.9%
製造現場の生産性向上・品質向上など「工業」分野	20.8%	31.6%	25.9%	17.8%	22.2%	17.4%	10.0%	20.8%
多言語に対応した観光案内や音声同時通訳システム、無人店舗など「観光・商業」分野	27.2%	30.9%	25.5%	22.9%	19.3%	17.7%	10.0%	21.4%
その他	1.6%	3.3%	0.9%	1.8%	0.6%	1.4%	0.0%	1.4%

7 長野大学をはじめとする市内の大学等について

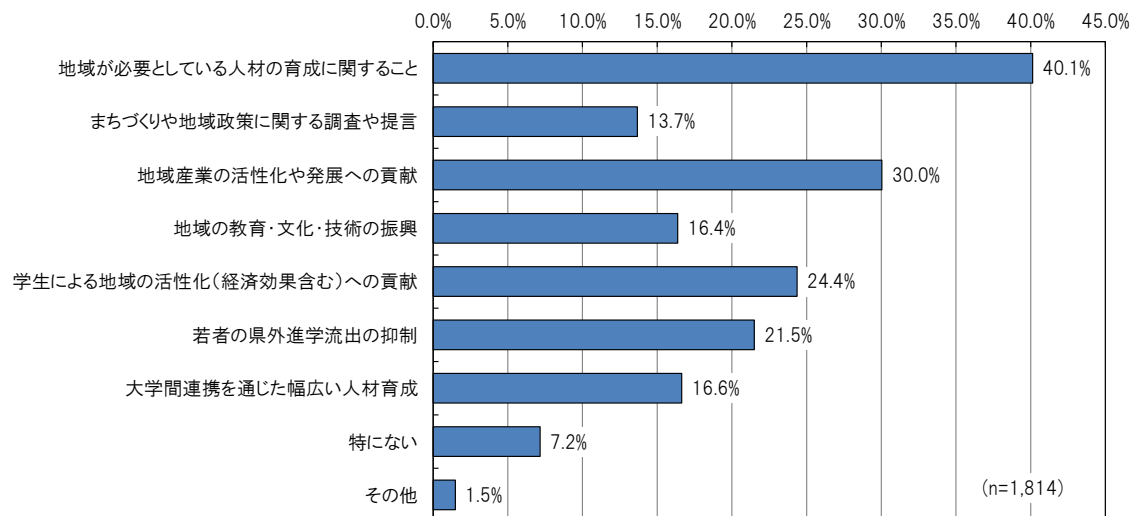
～地域の大学への期待～

■ 長野大学がどのような大学であってほしいと思うか



- 「地域の福祉、産業に貢献する人材を育成する大学」が53.3%と突出して高く、次いで「地域の課題解決のために、学生・教職員が積極的に地域に密着して取り組む大学」(29.8%)、「大学の研究成果などを地域社会に還元していく大学」(26.5%)が続く結果となりました。

■ 市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うか



- 市内にある大学等がどのような形で貢献するのがふさわしいと思うかについては、「地域が必要としている人材の育成に関すること」が40.1%で最も高く、次いで「地域産業の活性化や発展への貢献」が30.0%となりました。

8 上田市の将来について

～① 今後、不安に感じる事項～

■ 今後、上田市で暮らしていく上で不安に感じる事項

- 全体でみると、「車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなること」(45.4%)、「ひとり暮らしの高齢者が増えること」(42.5%)が高く、次いで「空き家が増えること」(30.7%)となっています。
- 年代別にみると、「車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなること」は、上の年代で高い傾向にあり、40歳代以上はいずれも45%超という結果でした。
- 「ひとり暮らしの高齢者が増えること」は特に「70歳代以上」が高く、約半数の47.6%が回答しました。
- 「商店やスーパーが減少すること」は、20歳代以下、30歳代において他の年代に比べて高く、いずれも3割超が回答しました。

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
空き家が増えること	24.8%	32.2%	29.2%	30.5%	35.4%	29.8%	20.0%	30.7%
耕作放棄地が増えること	14.4%	13.2%	14.4%	17.8%	19.0%	23.9%	20.0%	19.3%
商店やスーパーが減少すること	34.4%	33.6%	26.9%	26.2%	22.8%	13.7%	10.0%	21.9%
ひとり暮らしの高齢者が増えること	40.0%	33.6%	37.5%	38.9%	43.3%	47.6%	40.0%	42.5%
野生鳥獣による被害が増えること	7.2%	2.6%	5.1%	5.5%	6.4%	7.2%	10.0%	6.2%
清掃や雪かきなど自治会内の活動が継続できなくなる	17.6%	13.8%	18.1%	16.0%	15.2%	17.1%	0.0%	16.4%
車の運転が出来なくなり、移動手段が確保できなくなる	36.0%	38.8%	46.3%	48.0%	49.4%	45.4%	30.0%	45.4%
地域の文化、祭事等に参加できなくなる	1.6%	5.9%	1.4%	0.7%	1.2%	1.7%	0.0%	1.8%
隣近所での災害時の助けあいができなくなる	4.8%	6.6%	6.0%	6.9%	3.8%	8.6%	10.0%	6.7%
特に不安なことはない	1.6%	2.0%	3.7%	1.5%	0.6%	0.9%	0.0%	1.4%
その他	2.4%	4.6%	6.9%	3.3%	0.6%	2.0%	0.0%	2.8%

8 上田市の将来について

～② どんな地域になったら良いと思うか～

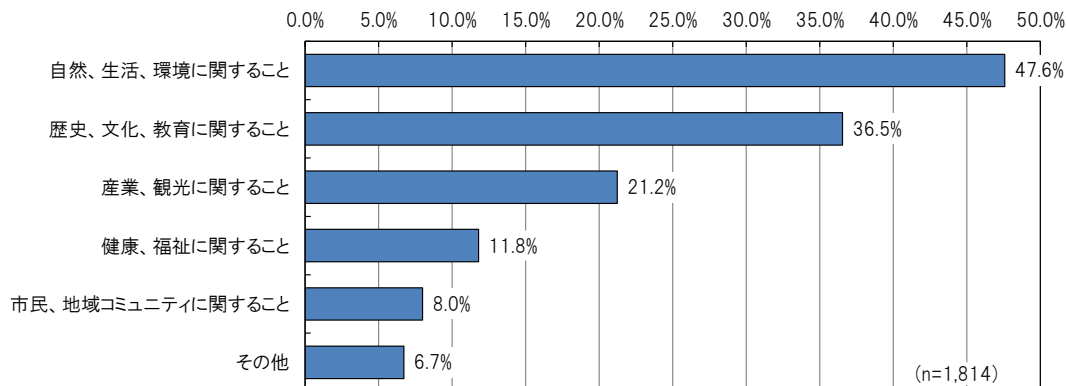
■ 【年代別】将来、どのような地域になったら良いと思うか

- 全体でみると、「地域医療体制が充実したまち」が32.0%で最も高く、次いで「保険・福祉・介護が充実したまち」(30.0%)、「高齢者、障がい者が暮らしやすいまち」(25.9%)、「子どもを安心して産み育てやすいまち」(25.6%)が高い結果となりました。
- 年代別にみると、「地域医療体制が充実したまち」は、30歳代、50歳代以上において他の年代に比べて高くなっています。
- 「保健・福祉・介護が充実したまち」は、50歳代以上において他の年代に比べて高く、いずれも3割以上が回答しました。
- 「子どもを安心して産み育てやすいまち」は、20歳代以下、30歳代で特に高く、市全体が25.6%であるのに対し、それぞれ41.6% (16.0ポイント差)、49.3%(23.7ポイント差)が回答しました。

	20歳代以下 (n=125)	30歳代 (n=152)	40歳代 (n=216)	50歳代 (n=275)	60歳代 (n=342)	70歳代以上 (n=694)	無回答(n=10)	全体 (n=1814)
地域医療体制が充実したまち	20.8%	32.2%	27.8%	33.1%	36.8%	32.4%	40.0%	32.0%
保健・福祉・介護が充実したまち	23.2%	17.1%	23.6%	30.2%	31.9%	35.2%	20.0%	30.0%
高齢者、障がい者が暮らしやすいまち	8.0%	12.5%	19.4%	26.2%	31.3%	31.0%	40.0%	25.9%
子どもを安心して産み育てやすいまち	41.6%	49.3%	28.2%	20.0%	23.1%	20.3%	20.0%	25.6%
教育環境が整備され、青少年の健全育成や人材育成が盛んなまち	13.6%	10.5%	9.7%	9.1%	5.3%	8.2%	0.0%	8.5%
商業機能の充実によるにぎわいのあるまち	18.4%	13.8%	16.7%	9.5%	8.2%	5.3%	0.0%	9.4%
観光・交流の拠点機能があるまち	5.6%	6.6%	5.1%	5.1%	2.9%	2.0%	0.0%	3.6%
歴史・文化資源を活用したまち	2.4%	4.6%	3.2%	3.3%	4.4%	2.9%	0.0%	3.4%
豊かな自然環境の保全に配慮したまち	9.6%	5.3%	8.8%	8.7%	11.1%	6.8%	0.0%	8.2%
防災・防犯・交通安全対策などが充実した安心・安全なまち	14.4%	13.2%	15.3%	18.5%	21.6%	25.1%	20.0%	20.5%
道路・住宅・公園施設や公共交通機関等が整備された便利で快適なまち	22.4%	16.4%	26.9%	21.8%	16.1%	15.7%	0.0%	18.5%
教育・生涯学習・スポーツ環境の充実したまち	7.2%	9.9%	8.3%	3.6%	3.2%	3.2%	0.0%	4.7%
わからない	1.6%	0.7%	0.5%	1.8%	1.5%	2.2%	0.0%	1.6%
その他	0.0%	2.6%	2.3%	1.1%	0.6%	1.0%	0.0%	1.2%

9 上田市の自慢できること・ものについて ～市民が考える上田市の魅力～

■ 上田市の自慢できること・もの



・「自然、生活、環境に関すること」が47.6%と最も高く、次いで「歴史、文化、教育に関すること」が36.5%となっています。

■ (抜粋)市民の意見

1 自然、生活、環境に関すること

- ・きれいな大気と豊かな緑
- ・まだまだ自然が多く美しい
- ・緑ゆたかな環境であること
- ・気候が良い、過ごしやすい
- ・空気が澄んでいて、星空がきれいなこと
- ・山、川がきれい
- ・四季折々の雄大な自然を堪能できること
- ・塩田平のお米作りとため池、四季折々の美しい景色があること
- ・晴天率が高いこと
- ・日照時間が長い
- ・田舎過ぎず都会過ぎず丁度良い
- ・生活に必要な買い物施設が一通り揃っていること
- ・新幹線が通り停車する事
- ・災害が少ない
- ・ゴミの分別が他の市より厳しい(と言われている)こと。環境に配慮できていると思います
- ・車の運転マナーが良いことは他にも通じること
- ・松茸の産地であること
- ・温泉が多い
- ・上田城など観光地がある
- ・菅平高原、美ヶ原高原
- ・千曲川
- ・太郎山など里山がある

2 歴史、文化、教育に関すること

- ・古代から現代まで豊富な文化財や事象が残されている
- ・史跡や鎌倉幕府と縁深い寺が多い。いわゆる「信州の鎌倉」、国宝や重文も多い
- ・塩田平の歴史、文化遺産のある事
- ・真田幸村などの戦国時代の武将出身地であること
- ・真田丸によって上田市は有名になったと思うので、もっともっと全国的にアピールする必要があると思う
- ・上田城跡公園、真田氏ゆかりの施設がある
- ・城下町の景観が美しい
- ・上田城、信州の鎌倉、別所、鹿教湯温泉
- ・別所温泉の北向観音、寺院、塩田の生島足島神社な歴史的文化遺産に恵まれている
- ・歴史的な寺社仏閣、城址などがある
- ・サントミュージゼという素晴らしい文化施設がある
- ・映画、ドラマ、アニメのロケ地が多いこと
- ・上田映劇が活躍していること
- ・図書館はどこで返却しても良いので便利だと思います
- ・長野大学、信州大学

9 上田市の自慢できること・ものについて ～市民が考える上田市の魅力～

■ (抜粋)市民の意見 ※続き

3 産業、観光に関すること

- 企業がたくさんあり、会社、工場が多い
- 基幹産業を下支えする特徴ある技術をもった企業の存在
- アリオもイオンもあって買い物に困らない
- おいしい食べ物がたくさんある(農産物)
- 観光資源が豊富
- 歴史的史跡や温泉など、観光スポットがコンパクトにまとまっていて訪れやすいこと
- 温泉が多い
- 鹿教湯温泉、別所温泉の観光地である
- 上田城跡公園
- 春は上田城の千本さくらのライトアップがきれいで観光客が多い
- わっしょい、花火、千本桜、真田まつり
- 特産のマツタケを生かして、秋のマツタケ山の観光が有名であること
- 菅平高原を中心にスポーツ産業が発達している
- 新幹線が走り、都会へのアクセスが便利
- 飲食店が多く、美味だれやじまん焼きと幅広いグルメが楽しめること
- 美味ダレ焼き鳥、あんかけ焼きそばなどがある

4 健康、福祉に関すること

- 病院や介護施設が適度にあるので安心できる
- 医療センター、丸子中央病院、開業医等の充実
- 国立病院があること
- 鹿教湯リハビリセンター
- 80歳以上は無料で送迎付で福祉施設を使える等
- 障がい者に対する福祉が手厚い
- 福祉施設がカフェなど地域住民の憩いの場所を提供してくれている
- 行政による運動教室があること
- 「うえいく」で運動するのが楽しい
- 健康診断結果のフォローが充実している
- ひとまちげんきが出来て良かったと思う
- 未満児のふれあい広場などたくさんの会場でやっていただいているありがたい
- 温泉施設が多いこと

5 市民、地域コミュニティに関すること

- 各自治会を中心にしたコミュニティの活発な活動
- 公民館活動が活発であること
- 自治会活動が活発であり行政と連携していること
- 地方都市が持つ支え合いの基盤が残っている
- 市民団体やNPOなどが元気に活動している
- 上田・丸子・真田各文化協会や上田自由塾など文化がさかん
- 地域住民だけでなく大学生などが情報発信や企画・イベントを行い活性化をはかろうとしている(ハナサカ軍ティ、ランタン、別所線etc)
- 「ひとまちげんき」子育て相談からお年寄りのことまで行き届いている
- ごみ出し場の衛生管理がしっかりしているので気持ち良くごみを出せる
- サントミューゼがあり、さまざまなイベントが楽しめる
- 以前と比較して中心地に新しいお店が増え、活性化してきていること。(とくに県外からの移住者による飲食店など)

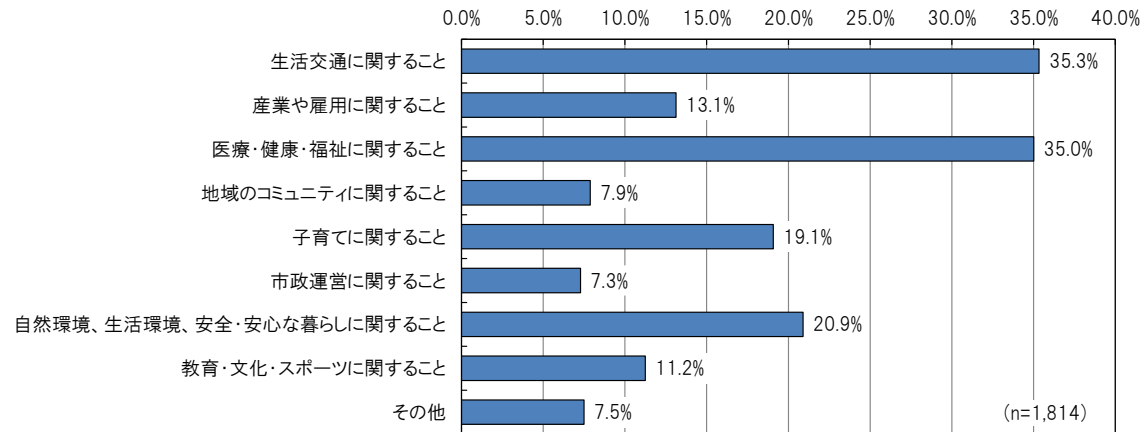
6 その他

- 県内の他の主要都市にそれぞれ遠からず、新幹線も止まり、立地的な条件が良い
- 東京へのアクセスが良いこと
- 高速道路、新幹線があり、他県への交通の便がよい
- 「オレンジバス」「循環バス」交通弱者に対する配慮に本当に感謝しています
- 自動車運転者が歩行者に対し優しい
- 毎朝小学生の登校時には大人の見守りがあるので安心して送り出せる
- 犯罪が少ない事
- 地域のために、地域の方達のために一生懸命考え努力している人達が近くにいる。その人たちが自慢。目立たない小さな力だけれどすごい力だと思う
- マルチメディアセンターでパソコンの苦手な人にも門戸を開いて教えてくれる
- チケットQRIは良いので更に継続してほしい
- 最低気温全国一位となる所があること
- じまん焼き、あんかけ焼きそば、美味だれ、松茸、そば

10 今後のまちづくりについて

～今後に向けたご意見・ご提案～

■ 今後のまちづくりや市政についてのご意見・ご要望、ご提案



・「生活交通に関すること」(35.3%)、
「医療・健康・福祉に関すること」
(35.0%)が突出して多くなっています。

■ (抜粋)市民の意見

1 生活交通に関すること

- ・市街地以外の公共機関の活性化
- ・とにかく交通が不便、それこそAIを駆使して山奥でも年寄りでも車が無くて安心して生活できるようになると思う
- ・交通の便が非常に悪い。年老いても気軽に外出出来るような交通システムを希望
- ・高齢者が少額もしくは無料で利用できるバスなど(タクシーも)
- ・運転免許返納後の交通手段
- ・バスの運行を増やしてほしい
- ・通学の為に親が送迎をしなくてもよいバスの運用
- ・コミュニティバスの充実(車がなくても最低限買物に困らない)
- ・丸子地域のデマンドをもっと広げてほしい
- ・R18がとにかく混みすぎている
- ・国道143号線(青木線)自転車道や歩道の整備をお願いします
- ・国道143号線に横断歩道が少ないと感じています。福田の辺(特に)利用したい店が目の前にあるのに渡れず上下線の車の来る間を渡ろうとしてしまう。危険です
- ・自転車が安全に走れる道路をふやしてほしい。歩行者と別のレーンをつくってほしい。商店街の道路を一方通行にして、車線を駐車スペースにしたらよい
- ・道路の整備、街灯
- ・歩行者・自転車が安全に交通できること(草だらけ)
- ・生活道路はスピード上限を40km/h以下として、標識を立ててほしい
- ・上田駅前の無料駐車スペース混雑時、迷惑駐車や順番待ちの列の緩和
- ・別所線など私鉄の充実

2 産業や雇用に関すること

- ・Uターンしたくなる産業の育成、県外、海外の人材の積極活用
- ・若い世代の勤務先が少ない。転職がなく、それなりの給与体制が整わないと永住地としての候補にならない
- ・上田市をもっと活気づけられそうな若者の起業等を的確に見極め支援してほしい
- ・電機メーカーばかりでなく、化学メーカーや出版社などの誘致、若者のUターン
- ・高齢でも働ける町
- ・スキルを活かした職業移動の多様性の確保・各人の状況に合わせた労働環境の整備
- ・技術を必要とする仕事を大切にしたい
- ・企業の誘致
- ・雇用が確保できる産業を誘致すべき
- ・工場の誘致で雇用を増やすことで若者や人材を得てほしい
- ・若者に魅力のある企業誘致を強力に進め、人口減を少しでも軽減する
- ・駅前がさびしく観光する所がない
- ・農業をしっかり支援してあげてほしい
- ・自営業への補助を増やしてほしい
- ・上田市が魅力ある市にならないければ産業も雇用も発展しない

10 今後のまちづくりについて

～今後に向けたご意見・ご提案～

■ (抜粋)市民の意見 ※続き

3 医療・健康・福祉に関すること

- ・安心してかかれる医療体制を充実させてほしい
- ・高度の医療ができる地域医療体制がほしい
- ・急に具合が悪くなった時にスムーズに早く適切な医療機関に行けるようなシステムを考えてもらいたい
- ・医療センターの充実を真剣に考えていただきたい
- ・かかりつけ医院(紹介状)がなくても医療センターなどでも診療できれば便利
- ・緊急医療体制、総合病院の充実。婦人科、出産できる病院を充実させる事
- ・産婦人科を増やしてほしい
- ・医療機関が少なすぎる。子どもが夜間かかれる病院も時間に限りがあり急変した際は困る。24時間の小児ダイヤルを開設してほしい
- ・休日に対応してくれる小児科がなくて困った事があるのできちんと設けてほしいです
- ・小児科を増やしてほしい
- ・地域では老人が多く居ても往診、看取り医が少なく、老人が安心して在宅化ができない。地域に根差した医師がほしい
- ・満18歳まで医療費の無償化してほしい
- ・高齢者がスムーズに施設に入居できるようにしてほしい
- ・福祉で働く人材が不足している。若い人達が福祉の現場で働きやすく、生活が安定しているだけ保障してほしい

4 地域のコミュニティに関すること

- ・高齢化が進みコミュニティが持続できなくなる前に対策して欲しい
- ・自治会の見直し。重要性は理解するが、行事や集会が多く、子育て世代(共働き世代)は加入しづらい。自治会費も高額なため、自治会員を減少させている原因になっていると思う
- ・自治会活動、自治会の意見をもう一度考えた方がいい。高齢の方と若者との考え方に差がありすぎる
- ・若い人や移住者がまちをつくっていく主体性を育む仕掛けづくり
- ・人口減により実現できない行事も多くなるが、住民全体で話し合いの場を設ける
- ・1人暮らしの人が安心して住めるような町づくり
- ・どの町も高齢者が多く、若者・子供が少ない。活気ある明るい地域にして欲しい。外国籍住民の多い上田市なので、もっと国際色豊かな街づくり。その人達の住みやすい上田市にして欲しい。共生のまちづくり
- ・外国人や他の地域から人が自治会に必ず加盟し、地域の人々との交流ができるための行政からの応援が必要。加入は強制力をもたせたい。不平等をなくす
- ・めったに雪が降らないが、高齢者世帯が増えているので、除雪車をもっと増やして住民の負担を少なくしてほしい
- ・地震・災害等あった時安心できる地域作りを更に充実してほしい

5 子育てに関すること

- ・安心して子どもを産んで育てられる市であってほしい
- ・子供が急な病気の際、預けられる施設の充実
- ・働きながら育てられる療児保育の充実、障害児を預けて働ける環境が少ない
- ・パパやママの参加するイベントを休日に多く開催してほしい。
- ・子ども達が遊ぶ公園(遊具のある)場所が増え、室内の遊ぶ場所が増え、子ども達がのびのび遊べるまちづくりを進めてほしい
- ・街灯が少なく、冬など子供が歩くのに怖い、公園を増やして欲しい
- ・全国的にですが、保育園の未満児の保育料も無償化を実現してほしいです。それに伴い保育士さん達の給料引き上げ、保育士さんの充実をさせる為に市政からがんばってほしいです。未来ある子ども達の為に大きく動いてほしいです
- ・経済的な補助や、社会全体の意識の改革、子育てしながらも働けるなどの制度の確立で、子育てしたいと思う環境を整えてほしい
- ・隣接する市町村に比べ、経済的支援が少ないと感じる。医療センターの産婦人科は予約しているのに何時間も院内で待たされるため妊婦に負担である。どんな年齢の子供も楽しめる総合公園がない
- ・教育費の軽減、
- ・多子世帯への経済的支援
- ・産婦人科の確立、子育て相談の窓口確立
- ・小学校・中学校等の建屋の老朽化が進んでいる。改善して欲しい
- ・子供を育てるのに老人も参加できる様な仕組みを考えてほしい

6 市政運営に関すること

- ・市政で議論していることが、若者は知る機会がない。より参加しやすい仕組み作りがほしい
- ・届け出など窓口の一本化
- ・AIや自動運転などの先端技術の実証事業を支援してほしい
- ・インターネット、スマホに依存することなく、全世代・全市民を念頭に調和のとれたコミュニティが確保できる市政運営をお願いしたい
- ・インフラの修繕にもっとスピード感が欲しい
- ・上下水道施設の老朽化に不安、早急に安全な暮らしにしてほしい
- ・市営住宅の空き家を解体し住民が求める環境作りに取り組み、地域の活性化につなげて欲しい
- ・夏祭り、花火等、現在の市民の生活感を考慮し縮小、回数減等して、市財の割り振りを考えてほしい
- ・旧上田市以外の地域の活性化
- ・新幹線の通勤補助金等を設けて、子育て世代を呼び込む

10 今後のまちづくりについて

～今後に向けたご意見・ご提案～

■ (抜粋)市民の意見 ※続き

7 自然環境、生活環境、安全・安心な暮らしに関すること

- ・自然環境や歴史的景観を守るため、保全活動に住民が参加しやすいような工夫、補助金、活動方法の支援など
- ・市街地はもっと緑を増やして欲しいです。並木などは、それだけで観光の目的になると思います。樹木の手入れなど雇用にもつながると思います
- ・子供達が自然の中や戸外で思い切り遊び、活動できる環境作り
- ・空き家及び耕作放棄地の積極的な活用を進める
- ・休耕地(畑)に太陽光パネル設置をさせないでほしい(歯止め、法制化)
- ・熊、鹿の出没に農家が困っている。早急に具体的な対策を願います
- ・1人暮らしの方への定期的な見守り
- ・高齢化にともない、家の建て替えやリフォーム、自動運転の車の購入などへの補助金を充実させてほしい
- ・小売店がかなり食料等遠くに買いに行く必要になっているため、移動販売車等の拡大
- ・ゴミの焼却能力向上による分別の簡易化
- ・災害に強いまちづくりを進めてほしい
- ・降水量が少ない地域であるが、風水害の被害にそなえ河川整備を整えて欲しい(天井川をなくし沈床の整備を早急にして欲しい)
- ・平常時は公園(トイレ以外のものは設置しない)、災害時は避難所になる場所
- ・本屋さんが減りなかなか買えない。図書館の充実を
- ・ドッグランの整備などペットと住みやすいまちづくりを進めてほしい

8 教育・文化・スポーツに関すること

- ・子どもたちが学びたいことを探求できる学校づくり
- ・子どもたちが自習できるスペースがない(図書館は利用時間の制限が厳しい上に座席も少ない)。他市町村ではそういったスペースを整備しているので参考にして欲しい
- ・高校以上の進学先を増やし、若い人がそのまま上田に残っていきたくするような学校を増やしてほしい
- ・不登校に対する施策の充実、図書館の充実
- ・老朽化した校舎をきれいにしてほしい
- ・社会人が参加出来るように平日夜間もしくは土日の講座の充実
- ・演劇やコンサートなど文化的な催しものをもっと増やし、フィルムコミッションで映画やドラマのロケ地を呼び込む
- ・首都圏に近いので、一流の(世界的な)音楽演奏の楽しめる機会を多くしてほしい。義無教育関係の予算をもっと増額して、充実してほしい
- ・サントミュージーゼ、古戦場公園テニスコートのように気軽に利用できる施設の整備をしてほしい(続けてほしい)
- ・スポーツ施設の見直しとスポーツ教育指導者をプロに任せるシステム
- ・若者が集まりやすい観光コースを作って欲しい(大学生、高校生、中学生の声を聞いて、一日観光コース、食べ歩きガイドを作してほしい)

9 その他

- ・活動について知らないことが多い。もっとアピールしてほしい
- ・ネットでの情報公開を進めること。補助金申請、施設利用などネット上でできるようにすること
- ・災害が少ない地であることに安住していないか発生時の連絡等の充実
- ・せっかく東京直通の新幹線があるのだから上田駅を中心とした再開発を進めてほしい。駅ビル、駅直結アリーナなどで上田城との相乗効果を。花火大会の打ち上げ発数が少ない。諏訪並みとはいかずとも今の2倍くらいの発数はあげられるスポンサー集めを
- ・車の返納した後はタクシーチケットを低価格で使える様にしてほしい
- ・物価があがり生活に困っている家庭が沢山あると思う。国ではなく上田市独自で救ってほしい
- ・ゴミ袋が高い
- ・ごみ処理場の決定
- ・消防団に入りたくなくなるくらい報酬を上げる、もしくは操法大会を2年に1回にする等、負担を減らして欲しい
- ・夏期間(日曜日)上田→美ヶ原バス運行往復一本でも観光につながるのではないかと考える
- ・上田城をもっと整備して観光としてもっと成長する町にして欲しい